

特別記念号

東宇治開館20周年
西宇治開館15周年

としょかん宇治

No. 65

2012年10月1日発行
宇治市中央図書館
〒611-0023 宇治市折居台1-1
0774 (39) 9256

宇治市東宇治図書館
〒611-0011 宇治市五ヶ庄三番割36-5
0774 (39) 9182

宇治市西宇治図書館
〒611-0042 宇治市小倉町山際63-1
西小倉地域福祉センター3階
0774 (39) 9226

図書館ホームページ <http://library.city.uji.kyoto.jp/> (携帯電話 <http://library.city.uji.kyoto.jp/i/>)

このたびの京都府南部地域豪雨によりまして、亡くなられた方に対し心よりお悔やみを申し上げますとともに、被害に遭われた多くの皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。

本の周辺

宇治市教育委員会

教育長 石田 肇

仕事であれ、趣味であれ、本を求める者はすべからく本が好きである。本好きにとっては、いずれの国にあっても、様々な本との出会いの場である書店、古書店、図書館はなくてはならない施設といえる。それを裏付けるかのように、日本はもとより世界各国のそれらに関する本がいろいろ出版されている。一口に本好きといっても、本を読むことが好き(読書家)、多くの本を所蔵することが好き(蔵書家)、本そのものが好き(愛書家)の別があるという。私自身がそのいずれに属するかはさておき、本好きの一人として、特に古書店と図書館がご鼻頂である。求める本を探す楽しみ、見つめる喜びはもとより、総じて静かで落ち着いた空気のなかで、多くの人たちに読まれたであろう本が、新たな出番を待ち、背表紙をこちらに向けてひっそりと並んでいる、そのような空間が好きなのである。

今までも各地の古書店や図書館を訪れる機会があった。古書店には取扱品目を専門化しているところもあるが、図書館では従来から、公共図書館として広く一般市民を対象とするものと、特定のジャンルに的を絞った専門図書館というべきものがある。本を求める者たちの多様なニーズにこたえてくれている。わが宇治市には古書店はないようであるが、図書館は昭和四十年に市民会館の図書室からスタートし、現在では三館体制となっている。まず中央図書館が文化センター施設の一つとして開館し、すでに三十年近く、そして東宇治図書館、西宇治図書館が今年でそれぞれ二十周年、十五周年を迎えようとしている。いずれの図書館も日々多くのの方々を利用して何よりも嬉しく思っている。

また源氏物語ミュージアムには、広く源氏物語に関する書籍

を集め、公開している専門図書室が付設されている。そして、本市の友好都市であるカムループス市。さる六月末から同市への公式訪問団に参加することができた。カナダ・デーをはじめ日程に追われて市内をゆっくり探索することはかなわなかったが、大通りに面する街角の一際目立つ市立図書館と、かろうじて二軒の古書店だけは一見することができた。心温まる対応をいただいたカムループス市の皆さんとの思い出の一つとして記しておきたい。



カナダ・カムループス市立図書館にて

これからもよりよいサービスを 目指して

中央図書館長 北岡 和昌

東宇治図書館、西宇治図書館が、それぞれ20周年15周年を迎えるこの機会に、宇治市の図書館の歩みをたどってみたいと思います。詳しくは、下段の『ミセスM子の図書館のあゆみすごろく』に楽しく紹介していただきますのでそちらもご覧ください。

昭和40年10月に誕生した「市民会館図書室」は、グループに対する貸出から個人への貸出へ、さらに児童書コーナーや点字図書コーナーの設置、また、移動図書館の運行と、「市民の図書館」として徐々に機能やサービスの充実を図ってきました。

この昭和30年代後半から40年代にかけては、図書館に対する考えが大きく転換した時期で、全国でもたくさんの方の公立図書館が建設されたそうです。それまでの公立図書館は、どこか「お役所的」であり、戦前の雰囲気が残っていたようですが、新しい図書館は、子どもからお年寄りまで、性別、収入、障害の有無に関係

なく無料で利用できて、誰もが自分を知りたい情報や知識を得ることができる場として認識されたのです。

そして、昭和59年10月に開館した中央図書館には、親子で本を楽しむるじゅうたんコーナーや視覚障害のある人のための対面朗読室を最初から設置したほか、ソフト面では、コンピュータを導入し、貸出返却の処理等を合理化しました。

平成4年には東宇治図書館が、平成9年には西宇治図書館ができ、現在の三館体制が出来上がりました。蔵書数も確実に増えて行き、開館以来目標としていた「市民1人1冊」の蔵書数は、平成6年度末に達成することができました。

平成24年4月からは、公立図書館と大学図書館という違いを超えて、京都文教大学図書館・短期大学図書館との連携を開始し、大学・短大の図書館を気軽に利用していただけるようになりました。

図書館の直面する課題はたくさんありますが、これからも市民の皆さんの声を聞かせていただきながら、サービスを提供していききたいと思っております。



●宇治市図書館は、よりよいサービスに努めています。

544.10月 初代よよかぜ号登場
本市の女 藤の女 市内を駆けめぐる

540.10月 宇治市初の図書館
市民会館図書室
3つすずか 誕生
まちにきた市民のみねさんに
よ3こはれる

まてまに第5弾
ミセスM子の
図書館の
あゆみすごろく

のちに活躍の
本好きになる
M子も 誕生

おめでとうM子!!
今のお気持ちは?

思えば図書館と
ともに歩んだ
人生だたわ
これからも読書わよ
老眼になんか負けなすわ

**中央図書館28周年
東宇治図書館20周年
西宇治図書館15周年**

息子が小さい頃
おつれ行たか
どういふは
運動好きさん
おむいさんだたわ

しん 突然
気がき
おむいさん
おむいさん

近ごろ部活が
忙しくてあんまり
本をよまなすわ

おんてろっの
たまり

目標 → Tenhen Parma
文武両道

H24
文教大学との
連携開始
わたしも
大学生になれる!!
それは4リですけ
大学の図書館を
利用できすわ。

H15.4月
祝日閉館 スタ
予約図書配本サービス開始
3つすずか

H21.9月
Eメールによる予約
連絡格始まる

H15.3月
よよかぜ号廃止

祝 東宇治図書館開館20周年 西宇治図書館開館15周年

宇治市図書館友の会 会長 三角 清子

宇治市図書館が、地域や住民に役立つ施設として充実することを願い、サークルや利用者が集まって、2008年11月「宇治市図書館友の会」が結成されました。

以来、館長はじめ職員の方々の意見交換や、他都市の図書館見学など、交流や見識を広める活動を行ってきました。

これからも市民が気軽に利用できる施設であるよう、図書館と協働していきたいと思えます。

感謝をこめて

おはなしたまてはこ 岩田 淳子

図書館開設20周年15周年おめでとうございます。おはなしたまてはこは、東、西図書館開設以来、毎月おはなし会をもたせていただきました。当時は、語る場も少なく図書館で語れることは私達の励みでした。聞いてくれる子ども達があるからこそ、私達は、語れるのです。そんな子ども達がつともっと心踊るようなおはなし会にしたい、そんな思いで今日までさまざまな図書館の皆様へ感謝します。

お祝いの言葉を頂きました

西宇治図書館15周年によせて
小倉小学校図書館司書 山本 その子

東宇治図書館ではなんなりした時も大切にこれからも利用していきたいと思えます。

本との出会いを大切にして
宇治小学校読書クラブ顧問 岡本 谷津子
本校の東門を出ると、東宇治図書館の玄関です。読書好きにはとてもありがたい立地条件をいかして、読書クラブは、学校の施設の一部のように利用し親しんでいます。顧問として、子ども達には違った世界に興味を持つきっかけになり、新しい世界を開くような本と出会ってほしいと願っています。

学校図書館はまだまだ蔵書不足が否めません。そのため先生方や児童が希望する学習資料を自校の図書室で揃えられないことがしばしばあります。そんな時、西宇治図書館で「学校等団体貸出」を利用します。職員の皆さんが、迅速に適切に資料を揃え貸し出ししてくださいます。いつも心強いサービスに感謝しています。

H9.6.6 西宇治図書館 オープン
 H4.11.11 東宇治図書館 オープン
 3つすずむ 3館 ネットワーク 便利さup!!
 H9.11.11 宇治市中央図書館 オープン
 中央図書館 オープン
 H11.9.9 初のリサイクル市 開催
 H12.4.4 リサイクル市 開催
 H10.4.4 「少年H」「失楽園」
 H11 「沈まぬ太陽」「ソフィーの世界」
 H14.4.4 「バックスタ」開演
 H14.6.6 ホームページ開設
 H14.6.6 便利なネット予約 2つすずむ
 S57年10月 創刊号発行
 S59.11.11 宇治市文化センター内に中央図書館 オープン
 M3.18才 美しい文庫少女に成長
 H6 「ワイルド・ストン」「マテソン郡の橋」
 H10 「少年H」「失楽園」
 H11 「沈まぬ太陽」「ソフィーの世界」
 H14.4.4 「バックスタ」開演
 H14.6.6 ホームページ開設
 H14.6.6 便利なネット予約 2つすずむ
 あげてもくちも
 まます 読書づけの
 M3... たんぱんに
 しからず 2つさがる
 ネット予約?
 すおんていひい
 宇治市
 あたしのファミリーカードに
 勝てるから-?
 意味不明

京都文教大学・短期大学図書館 連携開始

今年度より、京都文教大学図書館及び京都文教短期大学図書館（以下「文教大学・短大図書館」と言います。）との連携がスタートし、次の3つのサービスが始まりましたので、ご紹介します。

①気軽に入館していただけるようになります（無料）

これまで、文教大学・短大図書館に入館する際、運転免許証等を提示のうえ、書類の記入が必要でしたが、宇治市図書館の貸出券を提示するだけで済むようになりました。

文教大学・短大図書館では、本や雑誌、新聞等が無料で閲覧できます。また、所定の手続きを済ませて、大学図書館の貸出券を作れば、大学図書館の本を借りることもできます（有料）。なお、短期大学図書館の本は借りることはできません。

②文教大学・短大図書館の本を取り寄せできます（無料）

文教大学・短大図書館所蔵の本を読みたいとき、お近くの宇治市図書館（中央・東宇治・西宇治のいずれかの図書館）へお申し込みいただくと、後日、取り寄せた本を館内で閲覧していただくことができます。ただし、ご自宅に借りて帰ることはできません。

文教大学・短大図書館が所蔵する本は、文教大学・短大図書館ホームページで検索することができます。

③文教大学図書館で、宇治市図書館の本を受け取ることが出来ます（無料）

文教大学図書館に、宇治市図書館以外で予約した本を受け取れる「予約図書配本所」になっていただきます。宇治市民の方はもとより、文教大学・短期大学に在学される学生さん、お勤めの教職員の方は、住所が宇治市になくても宇治市図書館の貸出券を作れますので、大学図書館で宇治市図書館の本の受け取りと返却ができます。

大学図書館・短期大学図書館へのアクセス

- ・自転車・バイク⇨大学・短期大学指定の駐輪場へ
 - ・自動車⇨ベルファ宇治の駐車場へ（午前10時から利用可能）
 - ・電車⇨近鉄向島駅からスクールバスが利用できます（無料）
- ※正門横の受付で、宇治市図書館の貸出券を提示して「入構証」を受け取ってから、大学・短期大学構内にお入りください。

その他ご注意

- ・文教大学・短大図書館では、各図書館の指示に従ってください。
 - ・文教大学・短大図書館が休館のときは、サービスをご利用いただけられないことがあります。
 - ・文教大学・短大図書館の休館スケジュールにつきましては、直接文教大学・短大図書館にお問い合わせいただくか、ホームページでご確認ください。
- 文教大学・短大図書館のホームページ：<http://www.kbu.ac.jp/kbu/library/>

宇治市民のみなさま

京都文教大学図書館長 柏岡 富英



すでにご承知の通り、今年3月末に宇治市図書館と京都文教大学・京都文教短期大学との間で連携協力に関する覚え書きが調印され、4月末から実施されています。そして実際に、私どもの図書館をご利用になる宇治市民が、未だ少数ではありませんが徐々に増えてきています。また本学の学生に対しては、授業の準備やレポート・小論文の作成にあたって、宇治市図書館を積極的に利用させていただくよう指導しております。書類を整えて願ひ出れば、こちらまで届けてくださるといいうので、すから、願ってもない大きなメリットです。

個別の図書館が互いに無関係に集書する時代は終わりました。ネットワークの構築が、われわれに与えられた課題です。とくに大学・短大が比較的少ない京都府南部から奈良県北部にかけては、公立図書館と大学ネットワークの構築は喫緊の課題です。この目的のために、宇治市と本学との連携協定が重要な出発点になるだろうと考えています。

祝 東宇治図書館開館20周年 記念 西宇治図書館開館15周年

京都文教短期大学図書館長 津田 直樹



このたび宇治市図書館との連携サービスの輪に参加させていただきます。

ただくことになりました京都文教短期大学図書館です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、本学図書館は1960年4月家政学園短期大学（開学）、1980年4月京都文教短期大学（名称変更）とともに歩み、今年52年目を迎えております。蔵書につきましては本学のライフデザイン・食物栄養・幼児教育の三学科に関連します。図書が大半を占めておりますが、本学の建学の精神に関わる仏教関係の書籍を「國訳一切経」「大日本仏教全書」「日本仏教宗史論集」など数多く所蔵しております。そして幅広い豊かな教養関連図書群と学生選書による「読みたい本、勧めたい本」や教育関連雑誌を含めまして蔵書数は約12万冊となっております。

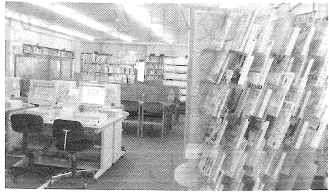
図書館連携サービスにより市民の皆様の本棚として京都文教短期大学図書館を存分にご利用くださり、心に響く書物との出会いがたくさん生まれますよう期待いたしております。

司書がいく!!

京都文教大学・短期大学
図書館へ行ってきました!

正門近くの「普照館」という
建物に大学図書館があります。

館内へ入ってすぐのカウン
ターで受付を済ませて奥へと広
がる開架室へ進み一言：「モダ
ン」訪れた日が、レポート提出
期限前とあって各席は自習に励
む学生さんでいっぱい。賑わう
図書館も活気があっていいかも
：。当館と大きく違うところ
は、書庫も開架室同様入室でき
ることです。見やすく心理学系
の専門書が配架されているのは
もちろんのこと、整然とシリー
ズごとに並んだ新書や文庫本が
美しい印象でした。一方、「至
道館」にある短期大学図書館は
保育・育児関係の資料がぎっしり
詰まる隠
れ家のよ
うな館内。
一日かけ
てじっくり
閲覧し
たい気分
になりました。



短期大学図書館

図書館へようこそ

特別出張

インタビュー

第50回

大浦 伸子さん



Q. 今回の京都文教大学図書館開設当
初から勤務されている司書で図書
情報課係長の大浦伸子さんにお話
を伺いました。
A. どのようなお仕事を担当されて
いますか。

A. かつては司書らしい仕事にも携
わっていましたが、現在は主に
予算管理といった経理関係を受
け持っています。

Q. 貴館のコレクションなどでイチ
オシのことはありますか。

A. 終生を宇治で過ごされた社会学
者 鶴見和子さん個人蔵の資料
を寄贈して頂いたことがあり、

「鶴見和子文庫」と称し、別置
しています。もちろん、閲覧が
可能です。
専門書ばかりでなく、話題の本
も多く所蔵していますよ。

Q. この仕事をしていて良かった！
と思う瞬間を教えてください。

A. 図書館は、人と本をつなぐ場だ
と思っています。立ち止まって
本を手取る学生を見ると嬉し
くなります。私自身も様々な本
に出会えることが、この仕事を
していて良かったと思える点で
すね。

Q. 最後に、京都文教大学図書館の
PRを一言お願いします。

A. 専門書といっても、その道を一
途に好きな学者さんが書いた資
料です。それを読むと意外にも
面白い発見があります。そう難
しく考えず、是非ページを開い
てみてください。きっと新しい
世界が広がると思いますよ。

▽各館行事今後の予定△

秋の読書週間記念行事

中央 「大人のためのウィークリー
朗読会」 10/28・11/4・
11/11

西宇治 図書展示「芥川賞・直木賞
作家の本」 10/16・11/10

東宇治 「スタンドグラスでサンキャッ
チャーを作る」 10/30

宇治市子ども読書の日記念行事

中央 図書展示「学校を舞台にし
た物語」 10/20・11/15

西宇治 「おはなしいわいランド」
11/10

東宇治 「おはなしひろば」 11/17

中央 H24年度宇治市子どもの読
書活動推進事業「図書館ポ
ランティア研修・実践発表
会」 11/2

図書館リサイクル市(日時
未定)

東宇治 開館20周年記念講演会「往
年のベストセラーを振り返る」
講師 国立国会図書館関西館
長尾宗典さん 11/23

3館合同 あさぎりフェスティバル
協賛図書展示 12月上旬

中央 「おりがみ教室 巳」(日時
未定)

クリスマス会

東宇治・西宇治12/19・中央12/21

本棚の中の宇治

子どもたちの

思い出がきつり

『学校の記念誌』

今年の六月、宇治小学校が開校百四十周年を迎えた。明治五年（一八七二）三室戸に宇治郡第四小学校として設置され、十二月に現在地に移転。同地で百四十周年もまもなくだ。

明治二年（一八六八）わが国初の小学校が京都市内に設けられたが、同四年廃藩置県を受け郡部に拡大していく。現宇治市域では、五年六月の宇治小学校をかわきりに、六年二月菟道小学校、三月笠取小学校、十月小倉小学校と続々開校する。そして明治十四年大久保小学校、十五年榎島小学校、三十九年笠取第二小学校が誕生し、百年以上の歴史を有する小学校が出そろった。それぞれ小学校が出そろった。それぞれ小学校では百周年を記念し、『宇治小百年史』をはじめ特色ある記念誌を発行。当

時の子どもたちが寄せた文章には、今では想像できないような学校の様子や暮らしぶりが描かれる。たとえば、衣服に関する部分を抜き出すと・・・

男子も女子も着物で、前垂れをして、ふるしきで教科書をつつみ、藁草履をはいて通学した（明治四十年代、菟道小）

小学校二年のころは女の子はほとんど着物でした。六年の卒業時分には半分以上洋服になっていました。男の子は黒い制服みたいなん着てました（昭和初期、笠取第二小）

そして、昭和十年代には洋服が当り前になっていった。

このほか、野や山を駆けまわり遊んだこと、川や池で泳いだこと、茶摘みや風呂の水汲みといった家の仕事の手伝い、戦争中には兵隊さんを旗を振って送ったこと、勤労奉仕で頑張ったことなどなど。明治・大正・昭和と、それぞれの時代を生きた子どもたちが体験、見聞きたことがらを読み進めると、当時の景観が眼にかぶようだ。

一方、昭和戦後の人口急増期に新設された学校の記念誌では、プールや体育館などが整備されるまでの苦労話、夏暑く冬寒いプレハブ校舎、それでもいきいきと学ぶ遊ぶ子どもたちの思い出が掲載される。いずれも、地域の歴史を今に伝える貴重な資料となっている。

今秋開催の歴史資料館特別展「子どもたちの近代誌」では、こうした思い出と写真やおもちゃ・文具などで明治から昭和戦後にいたる子どもたちの暮らしを紹介する。

（れきし・こじま）



創立100年以上の学校の記念誌

利用案内

市内に在住、または市内に通勤・通学されている方なら、貸出券を作ることので一人十冊三週間、本が借りられます。貸出券は全館共通です。図書館で借りた本は市内のどこの図書館へも返却することができます。

図書館は九時から十七時まで開館しています。休館日は毎週月曜日、第四木曜日（いずれも祝日の場合は翌日）、祝日の翌日（土・日曜日の場合は平日に振替）、年末年始、蔵書点検期間です。予約された本を市内五カ所の施設（木幡公民館、榎島コミュニティセンター、南宇治コミュニティセンター、開地域福祉センター、京都文教大学図書館）で受け取ることができます。原則週一回、木曜日の午後には搬送します。図書館で借りた本は右記の五カ所の施設へは返却できません。

あ と が き

今回のとしよかん宇治は、東宇治図書館開館20周年、西宇治図書館開館15周年にあわせて、6ページ特別号といたしました。中央図書館と共に、3図書館が末永く、みなさまに愛される施設となれるよう、努めていきたいと考えています。